

| | | | | | | | |
|--------|------|--------|-----|----------|-----|-------|--|
| 教科 | 保健体育 | 科目 | 保健1 | 履修区分 | 必履修 | 使用教科書 | 大修館書店 『現代高等保健体育改訂版(050-901)』 『現代高等保健体育(701)』 |
| 添削指導回数 | 3 | 面接指導回数 | 1 | 単位認定試験回数 | 1 | 副教材等 | なし |

学習の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。
 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

学習に取り組む際の注意事項

| | |
|------------------|--|
| 添削指導 | 提出期間に間に合うように提出する(タブレットは1枚ずつ、紙は3枚ずつ)。 |
| 面接指導 | 各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票：面接指導のみ実施、視聴票の実施なし。 ※視聴票による減免はなし。 |
| 単位認定試験 | 添削指導、面接指導(視聴票を含む)を全て修了後に受験。 |
| 単位修得(認定)に当たっての基準 | |
| 評価方法 | 各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。 |

学習内容・計画

| 単元名(教科書ページ) | 添削指導 No. | 面接指導 | | | | 単位認定 試験 | 観点別評価 | |
|--|-------------|---------------|--|---------|--------|-------------------|---------------|--|
| | | 開講番号 | 開講期 | 視聴票 | | | 観点 | 評価規準 |
| | | | | NHK高校講座 | 教科書DVD | | | |
| (050-901)p.4~15,18~23,129~130 (701)p.6~17,20~25,130~131 ・健康の考え方と成り立ち・私たちの健康のすがた・生活習慣病の予防と回復・がんの原因と予防・がんの治療と回復・運動と健康食事と健康・休養・睡眠と健康 | 1 | 番号なし(1時間のみ開講) | I~III期 | | | 全課程から問題を選出し、出題する。 | 知識・技能 | 生活習慣病のリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な検診が必要であることについて理解している。 |
| (050-901)p.26~31,34~39,42~47,49,130 (701)p.28~33,36~41,44~49,51,131 ・喫煙と健康・飲酒と健康・薬物乱用と健康・精神疾患の特徴・精神疾患の予防・精神疾患からの回復・現代の感染症・感染症の予防・性感染症、エイズとその予防 | 2 | | | | | | 思考力・判断力・表現力 | 単元の内容が、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 |
| | | | | | | | 主体的に学習に取り組む態度 | 生活習慣病とその予防、生活習慣とがんのリスク要因の関連性、睡眠の重要性などの要点を理解し、それに含まれる課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 |
| (050-901)p.62~63,66~71 (701)p.64~65,68~73 ・交通における安全・応急手当の意義とその基本・日常的な応急手当・心肺蘇生法 | 3 | 知識・技能 | 衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解している。 | | | | | |
| | | 思考力・判断力・表現力 | 単元の内容が、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 | | | | | |
| | | 主体的に学習に取り組む態度 | 現代の感染症とその予防、予防接種の効果的な要因について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | | | | | |
| | | 知識・技能 | 一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 | | | | | |
| | | 思考力・判断力・表現力 | 応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 | | | | | |
| | | 主体的に学習に取り組む態度 | 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 | | | | | |